



【クロサンショウウオ】

水^{みず}辺の近くで生活しています。ミミズやコンチュウなどをえさとし、ふだんは山^{りくじょう}の落葉の下などで陸上^{せいかつ}生活^{せいかつ}をしています。早春^{そうしゆん}、産卵^{さんらん}期^きになると、山^{しみず}の清水に集^{かたまり}まり、水中^{らん}生活^{らん}をします。白い塊^{かたまり}は、「卵^{らん}のう」といい、この中に卵^{らん}がたくさん入っています。



産^うみつ^{たまご}けられた卵



【ニホンマムシ】

本^{ほんしゆう}州^{しゆう}では、唯一^{ゆいいつ}の毒^{どく}へ^{らんたいせい*}ビです。マムシは卵胎^{らんたいせい*}生^{せい}と^{せい}いって体内^{たい}で親^{おや}と^{おや}同^{おな}じ形^{かたち}にな^なって^なる^るか^から^ら生^{せい}ま^まれ^れま^ます。